

社会と歯学

担当講座（分野）：口腔医学講座予防歯科学分野

第3学年 前期

前期 講義 31.5時間 実習 9時間

教育成果（アウトカム）

講義：歯科保健医療を統計学、社会科学の視点から学習することにより、我が国の保健行政および社会保障制度の枠組みの中で歯科保健医療を適切に提供しようとする態度が身につく。また、本科目では地域歯科保健医療、災害時歯科保健医療支援、地域医療連携で高い実績ある複数の外部講師を招いて講義を行う。これらにより歯科医師としての具体的な地域社会への貢献について理解することができる。

実習：集団のデータを実際に採取し解析することで地域診断能力が身につく。

集団の特性に応じた教育プレゼンテーションについて資料作成、実施することで地域歯科保健計画立案能力が身につく。
(ディプロマ・ポリシー：1～5、8、9)

事前学修内容及び事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習）を行うこと。また、到達目標に特に「事前学習」について記載がある場合はそれに従うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は本科目の全講義に該当するものとする。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月10日(金) 2限	岸光男教授	社会と歯学総論・医の倫理 歯科医療に関連する社会背景と医療関連倫理規定を学ぶことにより歯科医療の社会的意義が理解できる。	1. 歯科医療の社会的背景を概説できる。 2. 世界医師総会宣言と我が国の医の倫理規定を列挙できる。 3. WHO 勧告と我が国の保健政策（健康日本21など）との関連を説明できる。 [A-1-1)-①②③④、A-7-2)-②、B-2-2)-①]
4月15日(水) 2限	岸光男教授	歯科医療関連法規 (医療法) 医療法を学ぶことにより歯科医療の特殊性と普遍性が理解できる。	1. 医療法が規定する事項を列挙できる。 2. 医療法と医の倫理国際規定の関連を説明できる。 3. 医療安全に関する医療法の規定を列挙できる。 4. 医療施設の種類を列挙できる。 5. 医療計画を概説できる。 [A-7-1)-②、B-2-1)-②、B-2-2)-①]
4月17日(金) 2限	岸光男教授	歯科医療職種と法規 歯科医師法をはじめとする歯科医療職法規を学ぶことで歯科医療における歯科医師の役割が理解できる。	1. 歯科医師法が規定する事項を列挙できる。 2. 歯科医師法が規定する歯科医師の任務・義務・業務を列挙できる。 3. 歯科衛生士法が規定する事項を列挙できる。 4. 歯科技工士法が規定する事項を列挙できる。 [A-1-3)-①、B-2-1)-①③]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月22日(水) 2限	岸光男教授	歯科医療関連職種と法規 薬事関連法規 保健・福祉職法規 地域保健関連法規 歯科医師と連携する職種の関連法規を学ぶことでチーム医療の意義が理解できる。	1. 歯科医師と連携する職種（看護師、言語聴覚士、診療放射線技師、臨床検査技師）を列挙できる。 2. その他の医療連携職種（理学・作業療法士、視能訓練士、臨床工学技士、助産師）を列挙できる。 3. 医薬品、医療機器等法、薬剤師法を概説できる。 4. 看護師助産師保健師法を概説できる。 5. 社会福祉法、介護保険法を概説できる。 [A-5-1)-①～③、B-2-1)-④～⑦、B-2-2)-③]
5月1日(金) 2限	岸光男教授	歯科診療に関する記録物とその管理 歯科診療に関する記録物とその管理法を学ぶことで医療情報の重要性と患者中心の医療を理解できる。	1. 診療録、診断書、処方せん、歯科技工指示書、その他の記録物の記載と保存を説明できる。 2. 記録物の管理（院内管理、院外管理、電子カルテ、個人情報保護）を説明できる。 [A-4-2)-⑥⑦、B-4-3)-①②]
5月8日(金) 2限	非常勤講師 橋場友幹先生	歯科医療施設の管理 歯科診療所管理者から歯科医療施設の開設・管理を学ぶことで地域歯科医療の現状を理解することができる。	1. 歯科医療施設の開設、休廃止を概説できる。 2. 歯科医療施設の管理を概説できる。（含、放射線管理） 3. 広告制限、院内掲示事項を列挙できる。 4. 医薬品・医療機器の安全管理責任を概説できる。 5. 医療廃棄物管理を概説できる。 [A-6-2)-①～⑥、A-6-3)-①～⑥]
5月13日(水) 2限	森谷俊樹 非常勤講師	地域保健総論 1 行政の保健職に従事する歯科医師から地域保健行政の構造と機能を学ぶことで地域歯科保健の現状を理解することができる。	1. 保健行政（WHO、厚生労働省、都道府県、市町村の関連など）を概説できる。 2. 保健所と市町村保健センター、地域包括支援センターの役割を概説できる。 [A-5-1)-③、B-2-2)-④、B-2-2)-①⑧、B-3-2)-④⑥]
5月20日(水) 1限	岸光男教授	地域保健総論 2 地域保健の基本的な考え方および仕組みを理解する。	1. プライマリーヘルスケアを説明できる。 2. ヘルスプロモーションを説明できる。 3. 地域保健活動の進め方を説明できる。 4. プリシードプロシードモデルを概説できる。 [B-3-1)-①～④]
5月20日(水) 2限	岸光男教授	地域保健関連法規 地域保健関連法規を学ぶことで歯科医師の地域保健に対する使命を理解することができる。	1. 健康増進法が規定する事項を列挙できる。 2. 地域保健法が規定する事項を列挙できる。 3. 食品衛生法、感染症法、予防接種法、検疫法を概説できる。 [B-2-1)-⑤]
5月27日(水) 2限	大黒英貴 非常勤講師	災害時の歯科保健医療 東日本大震災直後の被災地支援を行った歯科医師から災害時の歯科保健医療について学ぶことで災害時の歯科保健医療の必要性が理解できる。	1. 災害時の時系列フェーズを理解できる。 2. 災害時の歯科支援活動を列挙できる。 3. 身元確認作業における歯科医師の役割を理解できる。 [A-7-1)-⑤⑥、B-2-2)-⑨、B-2-3)-①②] 事前学習：参考図書「災害時の歯科保健医療対策連携と標準化に向けて」第2章-1を読んでおくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月29日(金) 2限	阿部晶子准教授	地域歯科保健各論1 母子保健・母子歯科保健 母子保健・母子歯科保健について学ぶことで地域母子保健における歯科医師の役割が理解できる。	1. 母子歯科保健の意義と目的を説明できる。 2. 母子歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 3. 乳幼児歯科健康診査について説明できる。 4. 1歳6か月児、3歳児歯科健康診査のう蝕罹患型と保健指導内容を説明できる。 [B-2-1)-⑤、B-2-2)-①、B-3-2)-①④～⑥]
6月2日(火) 2限	佐藤俊郎助教	地域歯科保健各論2 学校保健・学校歯科保健 学校保健・学校歯科保健について学ぶことで学校保健における歯科医師の役割が理解できる。	1. 学校歯科保健の意義と目的を概説できる。 2. 学校歯科保健活動の仕組みについて説明できる。 3. 学校歯科健康診断について説明できる。 4. 学校歯科医の職務を列挙できる。 [B-2-1)-⑤、B-2-2)-①、B-3-2)-①④～⑥]
6月3日(水) 2限	大石泰子助教	地域歯科保健各論3 産業保健・産業歯科保健 産業保健・産業歯科保健について学ぶことで産業保健における歯科医師の役割が理解できる。	1. 産業歯科保健の意義を説明できる。 2. 職域における歯科保健管理について説明できる。 3. 口腔に症状を表す職業性疾患の原因物質を列挙できる。 4. 口腔に症状を表す職業性疾患の予防法を説明できる。 [B-2-1)-⑤、B-2-2)-①、B-3-2)-①④～⑥]
6月5日(金) 2限	岸光男教授	地域歯科保健各論4 成人・高齢者の保健・歯科保健と介護保険制度1 成人・高齢者の保健・歯科保健と介護保険制度を学ぶことで超高齢社会の保健福祉について理解する。	1. 成人・高齢者歯科保健の意義と目的を概説できる。 2. 成人・高齢者の歯科保健の現状を説明できる。 3. 介護保険制度の意義と目的を概説できる。 4. 介護保険制度の仕組みを概説できる。 [A-7-1)-③、B-2-1)-⑤、B-2-2)-①④⑥～⑧、B-3-2)-①④～⑥]
6月10日(水) 2限	岸光男教授	介護保険制度2 地域医療体制 介護保険制度と地域医療体制を学ぶことで地域包括ケアシステムの概念を理解する。	1. 介護保険制度と地域包括ケアシステムの関連を説明できる。 2. 医療連携と医療計画（地域医療構想）を説明できる。 3. 医療施設の機能と役割を概説できる。 4. 医療の効率的提供（クリニカルパスと地域連携クリニカルパス）を説明できる。 [A-7-1)-②～④、B-2-2)-①]
6月12日(金) 1限	岸光男教授	社会保障制度 社会保障制度を学ぶことで医療資源の公平分配の理念を理解する。	1. 社会保障の種類を列挙できる。 2. 社会保険と保障の種類を列挙できる。 3. 保険診療報酬請求の仕組みを概説できる。 [B-2-2)-①～③]
6月12日(金) 2限	佐々木勝忠 非常勤講師	地域における保健医療福祉連携 地域における保健医療福祉連携を実践した歯科医師の経験を学ぶことにより地域連携の重要性を理解する。	1. 地域における保健医療福祉の連携の重要性を説明できる。 2. 地域保健医療福祉における歯科医師の役割を列挙できる。 3. 保健医療福祉の連携方法を列挙できる。 [A-5-1)-①～③、A-7-1)-①③～⑤、B-1-②③、B-2-2)-⑧]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月17日(水) 2限	相澤文恵教授 (心理学・行動科学分野)	ライフステージに対応した健康教育 学習援助型の健康教育を学ぶことにより、健康に係わる行動変容の重要性が理解できる。	1. 健康教育の目的を説明できる。 2. 健康教育の理論について説明できる。 3. 行動変容に関わる要因について説明できる。 4. ライフステージに対応した支援方法について説明できる。 [B-3-2)-④⑦⑧、F-3-2)-②～⑦] 事前学習：1年生科目「医療における社会・行動科学」7.エンパワーメント教育の授業時配布資料を確認しておくこと。編入学生は相澤教授から受け取ること。
6月19日(金) 2限	岸 光男教授	医療経済 医療経済を学ぶことにより医療の効率的提供における歯科医師の役割を理解する。	1. 国民医療費の財源、制度、診療種類別内訳を概説できる。 2. 国民医療費の推移について説明できる。 3. 歯科医療費の推移について説明できる。 [B-2-2)-①～③]
6月24日(水) 2限	大石泰子助教	国際保健 国際保健を学ぶことにより医療人としてのグローバルな社会貢献の方略が理解できる。	1. 国際保健の意義を概説できる。 2. 歯科保健の二国間協力と多国間協力を区別できる。 3. WHO, NPO, NGO, JICA の役割について説明できる。 4. WHO の開発途上国での口腔保健戦略を列挙できる。 [A-7-2)-③～⑤]
6月26日(金) 2限	米満正美 非常勤講師	特別講義 疫学特論 社会歯科学の学修後に歯科疾患の疫学を学び直すことで疫学的知見が社会の中でどのように役立っているかが理解できる。	1. 歯科疾患の疫学が国民保健にどのように貢献しているかを概説できる。 [B-3-2)-①②⑥、B-4-1)-①③] 事前学習：2年生科目「衛生・公衆衛生学」3, 4 疫学Ⅱ、疫学Ⅲの講義資料を確認しておくこと。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月12日(金) 3、4限	岸光男教授 佐藤俊郎助教 大石泰子助教	歯科集団検診 歯科集団検診の実施を相互に体験することで歯科集団検診の意義と注意点（バイアス、実施リスク）が理解できる。	1. 歯科集団検診に必要な器具を列挙できる。 2. 歯科集団検診の基準統一について説明できる。 3. 歯科集団検診の手技を経験できる。 4. 歯科集団検診結果を集計できる。 [B-4-1)-①～③]
6月19日(金) 3、4限	岸光男教授 相澤文恵教授 (心理学・行動科学分野) 佐藤俊郎助教 大石泰子助教	検診結果の集計・統計分析 検診結果の集計・統計分析を行うことで集団データを取得することの意義が理解できる。	1. 歯科集団検診結果から疫学指標を算出できる。 2. 集団間の疫学指標を比較検討できる。 [B-4-2)-①②④]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
6月26日(金) 3、4限	岸光男教授 相澤文恵教授 (心理学・行動科学分野) 佐藤俊郎助教 大石泰子助教 米満正美非常勤講師	健康教育 ライフステージに対応した健康教育を実施することで対象に応じた行動変容支援の方法が理解できる。	1. ライフステージに対応した行動目標を設定できる。 2. 視覚媒体を用いた健康教育を行うことができる。 [A-2-2)-②③、B-3-2)-①④、 F-3-2)-②～⑦]

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

書 名	著者氏名	発行所	発行年
教 スタンダード社会歯科学 7版	石井拓男ほか 編著	学建書院	2018年
教 スタンダード衛生・公衆衛生 16版	安井利一、神原正樹、荒川浩久 編	学建書院	2019年
教 口腔保健・予防歯科学 第1版	安井利一ほか 編	医歯薬出版	2017年
参 新版 歯科医療管理 安全・安心・信頼の歯科医療を提供するために	一般社団法人 日本歯科医療管理学会 編	医歯薬出版	2018年
参 国民衛生の動向 2019/2020 (「厚生指標」臨時増刊号)	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2019年
参 災害時の歯科保健医療対策 連携と標準化に向けて	中久木康一、北原 稔、安藤雄一 編	一世出版	2015年

成績評価方法

定期試験 90% 平常点 (実習レポート、ポストテスト) 10%

特記事項・その他

講義前に WebClass に資料を提示するので事前学習に利用すること。 非常勤講師担当以外の講義では講義前後に試験 (プレテスト、ポストテスト) を行い、結果は次の講義前にフィードバックする。 提出されたレポートは、採点后、コメントをつけて返却する。
--

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン dynabook 一式	T552/47 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
プロジェクター	EB-1771WC3 1	視聴覚用機器	症例提示用
デスクトップパソコン一式	Pro6300 SF/CT 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成
デスクトップパソコン一式	MateJ MJ29M/L-G 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
カラーレーザープリンタ・一式	LBP9200C	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の印刷
デスクトップパソコン一式	PC-MK33MLZE14SM 他	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
A3 対応カラープリンタ・一式	LBP9100C	1	基礎実習・研究用機器	講義資料の資料印刷用
ノートパソコン ProBook430 一式	G3/CT	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ、統計分析演習、 研究データ解析
ノートパソコン Dynabook 一式	R73/B	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ、実習資料提示、 研究データ解析
タブレット兼ノートパソコン一式	T6T57PA-ABLY	1	基礎実習・研究用機器	授業のデモ、統計分析演習、 研究データ解析
デスクトップパソコン	Endeavor MR4800E	2	基礎実習・研究用機器	講義・実習の資料作成